

いつもキレイ、
だから元気!



首の後ろまですっぽり紫外線からガード ポーラの『UVカット帽子(バックフリル)』

UVカットの帽子は紫外線対策には欠かせませんが、つばが大き過ぎてデザインが野暮ったいものも多く、いまいち購入意欲がわかないという声が聞かれます。でもポーラの「UVカット帽子(バックフリル)」なら、つばの幅を大きめに設計しながらも、前つばにワイヤーが入っているため、自由に形を変えることができます。エレガントなバックフリルがついてオシャレであるうえに、首の後ろや耳まで覆ってくれるので、頭部全体を紫外線からしっかり守ってくれます。さらに、バックフリルの内側には接触冷感&吸放湿素材「クールインF」を使用しているため、暑い夏でも涼しく快適です。

今年の紫外線対策、一つはこの帽子にお任せしてみたいはいかがでしょうか。



新・五感で潤う

「ゆく川の流れば絶えずして、しかも、もとの水にあらず」。その流れが一段と速くなっているようにお感じになりませんか? 「岡目八目」ではありませんが、ちょっと立ち止まって「大事な何かを忘れず」「大切な何かを取り戻す」おせっかいです。

《見者の手紙》
それは、ランボーの
書いた手紙

若かりし頃、目にされ、読まれた方も多いと思う「ランボーの詩」。「早熟の天才」と評されるフランスの詩人ランボーは、詩人ヴェルレーヌに出会い、「地獄の季節」、「イルミネーション」でその才能を見せました。



この天才は、若いうち(20歳代前半)に詩作を放棄。その後はアフリカで武器商人となり全身癌で若死にするなど、その天才と波乱の人生はまさに「永遠インパクト」と言えるでしょう。

そこで、代表作「永遠」をご鑑賞ください。

永遠

見つけたぞ何が?
永遠が 太陽と融合した海が
用心深い心よ懺悔しよう
虚無の夜と灼熱の昼を
人間どものくだらぬことから身を放ち
自由に飛んでいけ
お前自身のうちから サテンのような残り火よ
義務は生ずるのだ 誰にいわれるでもなく
ここには希望はない 立ち上がる望みもない
智恵も不屈の精神もただの責め苦に過ぎぬ
見つけたぞ何が?
永遠が 太陽と融合した海が

▼お問い合わせは・・・



住まいを快適に・長持ちに カ・エ・ル!!

有限会社 **ハッピーリフォームセンター**

〒306-0015 茨城県古河市南町1番18号

TEL. 0280-32-3500 FAX. 0280-32-7671

✉ e-mail seki@happy-rc.com

☎ **0120-305-223**

🌐 <http://www.happy-rc.com>



を

大切にしよう新聞

2014.6
JUNE

「物」の先には「事」がある。事の先には「つながり」がある。あり余っているから、すぐお金で買えるから、いつでもどこにでも捨てられるから。そんな社会と暮らしが、本当に望んだものなのか、快適なのか。これからはまず疑おう。それには、きちんとして、わかりやすく一流の物差しがある。その物差しは、風土と季節、文化的、伝統的がいい。みんなに共通で、しかも変わることがないから。日本人なら毎日の生活の中で使いこなせるから。

あめふり
あめあめ ふれふれ かあさんが
じゃのめで おむかい うれしいな
ピッチピッチ チャップチャップ ランランラン



大正14年
作詞・北原白秋
作曲・中山晋平

懐かしさに、和んでください。
「日本のうたを、口ずさむ」



6月30日、いつもの神社に茅(ちがや)で作られた大きな輪っかが現れたら、それは「夏越の祓」。この輪をくぐると災いは払われ、新鮮な自分に生まれ変わる—そんな「転生」の意味合いがあります。輪のくぐり方には決まりがありますので、ご興味のある方はネットにアクセスしてみてください。

行事でキリリ。
「夏越の祓」を
「茅の輪くぐり」で



鮎
美味求旬

6月と言えば「鮎解禁!」塩焼きが夏の到来を告げます。川によって味が違うとされ、きゅうりに似た独特の香りがするので「香魚」が別名。骨ごと食べられるので、カルシウムやリンを豊富に摂取できます。